

令和4年度重点目標達成についての自己評価

令和4年度重点目標	達成状況	今後の課題
<p>(1) 学生募集において、2023年度に向けて、入学定員に準じた適正な入学者を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の仕事への意識付けと、AO案内の徹底 ・農業分野の認知拡大 <p>(2) 中途退学者3%以内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学連携で質の向上に努める ・企業プロジェクトや企業との交流情報を通じた教育効果の確認 ・教員、講師の研修、勉強会を通じた教育力強化 <p>(3) 就職希望者の就職率100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同企業説明会の内容の強化を図ることでの就職支援の充実 ・卒業生支援の充実と卒業生状況確認のできるシステム構築 ・ひとり一人に寄り添った就職サポート <p>(4) 健全な学校運営をする為の、適正な予算管理と適切な予算執行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定経営の継続 ・自己点検・自己評価のホームページ公開 ・スタッフのコンプライアンス遵守と危機管理意識の徹底 <p>(5) 教職員の成長を即すために、人材育成を強化する。</p>	<p>(1) 学生募集については募集開始時期、募集内容などルールを遵守し、進路選択時期に合わせた活動が行われた。</p> <p>(2) 担任が一人ひとりを見ていくことをテーマに会議などで学生個々の情報を共有しスタッフ全員でサポートする課題に取り組んだが、目標には届かず、4.1%の結果に終わった。(目標3%)</p> <p>(3) 昨年に引き続きコロナウイルスの影響で対面での学内合同企業説明会実施が出来ませんでした。しかし単独企業説明会の実施を増やすことで就職に結びつけました。3月末時点では100%達成出来ずに98.3%でした。</p> <p>(4) 短期的な予算においては「修正予算」を組み、正確かつ実現可能な予算作成を立てた結果、予定通りの予算執行がなされた。</p> <p>(5) 滋慶学園グループ、滋慶学園COMグループの各種研修及び、現場でのOJTにより、スタッフの能力向上に努め単年度の人材育成計画が遂行された。</p>	<p>(1) 今後も募集開始時期、募集内容等々ルールを遵守し、高等学校の進路状況なども踏まえ選択時期に合わせた適正な学生募集に配慮する。</p> <p>(2) 一人ひとりを見ていく中で、予防を徹底していく必要があるのでアンケートを取りながら問題が発生する前に対応していくことが大事である</p> <p>(3) 就職希望者全員の内定は当然、一人ひとり学生の希望に合わせた就職支援をさらに強化する。また同窓会組織を基本とした卒業サポートの構築が急務である。 新たな業種、企業の求人獲得に努める。</p> <p>(4) 短期的な予算の「修正予算」を基に、中長期的な予算も編成し直す。</p> <p>(5) 学園の教育理念の共有を徹底し教職員の更なる成長を即すために、人材育成を強化する。</p> <p>(6) 安心安全な学校運営の為、健康管理の徹底、火器取り扱いなど、事故を防ぐ為、安全管理の徹底。</p>